



農作業支援活動

将来を見据えた高校を核とした地域創成のカタチ

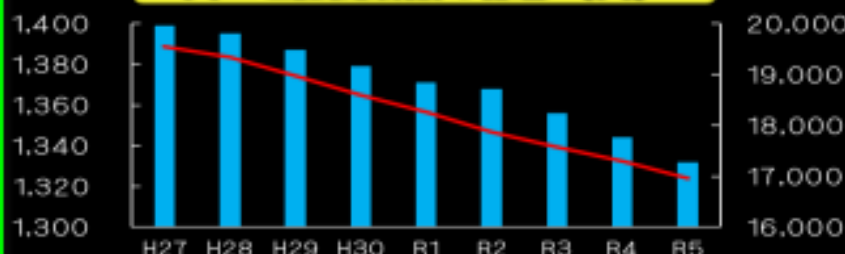


南部町立名久井農業高校！？

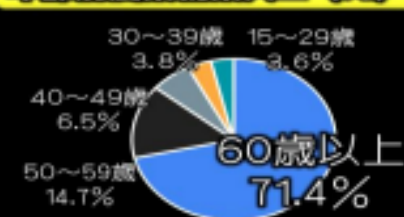


南部町の現状

人口と総農家数の推移 (人)



年齢別農業就業人口 (%)



新しい実習服に袖を通し、農作業に励むのは本校の1年生たち。名久井農業高校では、入学直後から地域の農家に出向き、丸一日かけて実習を行います。南部町役場や受け入れ農家の皆さまのご厚意と協力によって、こうした貴重な機会が成り立っています。地域と深くつながる実践的な学びを通じて、県立でありながらも「南部町立」としての誇りも大切にしている本校。リンゴの人工授粉、たい肥まき、種まきなど、さまざまな作業を経験するなかで、生徒たちは農業の現場と真剣に向き合い、1年生は心身ともに成長していきます。いま南部町は、人口の減少や農業従事者の高齢化、後継者不足といった深刻な課題に直面しています。そうした現状を肌で感じながら学ぶ意義は大きく、彼らの実体験から生まれる問いや気づきが、未来に向けた新たな研究へとつながっていくことを願っています。